

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品 最終仕入原価法による原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産（リース資産を除く） 法人税法の規定に基づく定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金 連盟規定に基づく期末要支給額相当額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法  
「リース取引に関する会計基準」を適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。  
また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜き方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000			100,000,000
小計	100,000,000			100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	21,922,050	2,383,800		24,305,850
建物修繕積立資産	5,841,215	1,463		5,842,678
預り敷金資産	1,941,000			1,941,000
特定費用準備資金	17,500,000	17,501,700		35,001,700
小計	47,204,265	19,886,963	0	67,091,228
合計	147,204,265	19,886,963	0	167,091,228

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	—	(100,000,000)	—
小計	100,000,000	—	(100,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	24,305,850	—	(24,305,850)	(24,305,850)
建物修繕積立資産	5,842,678	—	(5,842,678)	—
預り敷金資産	1,941,000	—	(1,941,000)	(1,941,000)
70周年記念事業費準備資金	30,001,700	—	(30,001,700)	—
中学女子軟式野球大会開催準備資金	5,000,000	—	(5,000,000)	—
小計	67,091,228	—	(67,089,528)	(26,246,850)
合計	167,091,228	—	(167,089,528)	(26,246,850)

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建築物	285,678,092	203,343,190	82,334,902
備品	1,285,000	1,189,996	95,004
リース資産	46,858,179	46,835,373	22,806
合計	8,564,880	5,855,680	2,709,200
合計	342,386,151	257,224,239	85,161,912

## 附属明細書

### 1. 基本財産および特定資産

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載しているとおりでである。

### 2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	21,922,050	2,383,800	0	0	24,305,850